

令和5年度組織目標

部局名	総務部
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○滋賀にふさわしい税制の検討を含めた歳入確保の推進</p> <p>・地域交通ビジョンの策定と並行し交通税の検討を推進する。</p> <p>目標： ・企業等と関係構築を図り寄附等の獲得を推進する。 1,600百万円（R5～R8年度）</p>
	<p>○新しい政策にチャレンジするための業務見直し・効率化の推進</p> <p>・全庁的な業務の見直し・効率化を推進し、政策課題に柔軟に対応できるよう組織体制や財源配分の全体最適化を図る。</p> <p>目標： ・国スポ・障スポ後も見据えた中長期的な組織体制・財政運営について検討し、その見直しをとりまとめる。</p>
	<p>○シン・ジダイを担うひとつづくりの推進</p> <p>・県庁を担う若手・中堅職員や女性職員の育成の観点から、人事制度の改善や研修等の充実を進める。</p> <p>目標： （レベルアップやチャレンジの意欲があると考える職員の割合95%） ・滋賀を担うひとつづくりに向けて、滋賀県立大学の第4期中期目標・計画を策定し、教育環境の充実を図る。</p>
	<p>○デジタル技術を活かした移住・交流の促進による地域の振興</p> <p>目標： デジタル技術を活用した地域とのつながり創出や効果的な発信などにより、関係人口を創出し移住の拡大を図る。</p>
	<p>○庁舎等のCO2ネットゼロの推進</p> <p>目標： ・本庁舎における施設・設備の省エネ化や老朽化車両の次世代自動車への更新を進める。 ・部内の業務を見直し、ペーパーレス化の一層の推進を図る。</p>

所属名	総務課
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○庁舎内のCO2ネットゼロの推進</p> <p>目標： ・施設・設備の省エネ化（遮熱フィルム設置）：県庁舎等全体の40%（東館2～7階の南窓側施工） ・老朽化車両の次世代自動車更新：集中管理車に係る次世代自動車導入率 81%（27台中22台）</p>
	<p>○県庁舎等を有効活用した広告収入の更なる確保</p> <p>目標： ポスター枠、大津合同庁舎横断幕、公用車（集中管理者）の活用による、120万円以上の収入確保</p>
	<p>○【見直し・効率化】公用車の集中管理のあり方</p> <p>目標： まずは、本庁舎・大津合同庁舎内の各所属で所有している約120台を対象に、集中管理のあり方について検討を行い、取組内容について方針を決定する。</p>

所属名	私学・県立大学振興課
	<p>目標： 第4期中期目標を県議会の議決を経て今年中に策定するとともに、計画的な施設整備や授業料減免など、教育環境整備の充実を図る。</p>
	<p>○私立学校支援の充実</p> <p>目標： 私立学校の特色ある取組に対する補助制度の見直し検討など、学校法人の経営安定化や保護者負担軽減に向けた支援の充実を図る。</p>
	<p>○【見直し・効率化】</p> <p>高等学校等就学支援金のオンライン申請への切り替え</p> <p>目標： 令和6年度からのオンライン申請の本格導入に向けて、今年度は3校程度試行し、処理手順や課題等を整理する。</p>

所属名	人事課
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○県庁のひとづくりの推進（①立場が人を作る、②褒めて伸ばす、③育成支援）</p> <p>目標： ①若手・中堅職員の昇任見直し、女性管理職15%、係長30%（R8） ②職員の意欲向上につながる人事評価制度の見直し ③-1 職員研修の充実、満足度向上 95% ③-2 OJTやジョブローテーションを通じた意欲と能力の向上支援</p>
	<p>○【見直し・効率化】最適な組織体制の整備</p> <p>目標： ①子ども施策の一層の強化等のための健康医療福祉部の再編 ②専門的業務のさらなる集約化による組織の全体最適化 ③国スポ・障スポ後を視野に入れた中長期的な組織体制の検討</p>
	<p>○様々な事情のある職員がいきいきと働ける環境の整備</p> <p>目標： ①男性育休取得100%宣言（ver2.0）の推進と代替職員の充実 ②障害のある職員等がやりがいをもって働き続けられる働き方の検討 ③時間外勤務550時間超の職員を5%以下に（R8）</p>

所属名	行政経営推進課
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○業務の見直し：200件超の全庁的な視点での見直し項目の牽引、各所属におけるデジタル技術を活用した業務見直しを個別にサポート</p> <p>目標： 日頃から業務の進め方を意識的に工夫し、前例にとらわれず見直しをしている職員の割合 100%（R8年度） デジタル技術などによる申請等利便性向上率 100%（R8年度）</p>
	<p>○20%ルール：いかにして若手職員の意欲と能力を高め、イノベーションを生み出していくかに焦点をおいて仕組みを検討</p> <p>目標： ヘルプアップやチャレンジへの意欲があると考える職員の割合 95%（R8年度）</p>
	<p>○寄附等を通じた企業等との関係構築：企業等からの理解と共感を得ながら継続的な関係を構築し、寄附の獲得につなげる</p> <p>目標： 寄附等の獲得 1,600百万円（R5～R8年度）</p>
	<p>○【見直し・効率化】内部統制事務：各所属でのチェック機能を高め、再発防止に重点を置いた見直し</p> <p>目標： R6.2までに、見直し結果をR6内部統制事務の運用に反映</p>

所属名	総務事務・厚生課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○心と体の健康づくりの推進 目標： ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善の取組実施率 90%以上
	○職員のニーズに合った福利厚生事業の運営 目標： カフェテリアプラン助成を利用する職員の割合 70%以上
	○【見直し・効率化】デジタル技術を活用した総務事務の効率化 目標： 年度末までに、総務事務におけるデジタル技術活用のモデルを作成

所属名	財政課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○重点政策・成長戦略の推進と持続的な財政運営の両立 目標： ・令和6年度予算編成に向けた施策構築、懸案事項、財源捻出の一体的議論 ・将来の財政需要や政策課題を見据えた「中期的な財政運営の方針、財源配分の最適化」の検討
	○持続可能な財政基盤の確立 目標： ・財政調整基金残高 100億円程度維持 ・臨財債を除く県債残高(令和8年度末) 7,200億円程度
	○医療福祉拠点整備事業の円滑な執行 目標： 総合企画部、健康医療福祉部と連携し、施設整備(設計)に着手
	○【見直し・効率化】全庁的な負担軽減、業務の一体化の検討 目標： ・予算編成、予算執行における事務の見直し・効率化 ・PFI・指定管理者制度の事務の集約化に向けた検討、税外未収金縮減に向けた関係課への支援の拡充

所属名	税政課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○滋賀にふさわしい税制の検討 目標： 滋賀県税制審議会を活用した既存法定外目的税のあり方検討、ならびに滋賀地域交通ビジョン策定と並行し、いわゆる交通税について、丁寧な議論を進める
	○適正な課税および県税滞納額の縮減による県税収入の確保 目標： 課税客体の完全捕捉に努め、適正かつ迅速な課税を実施する。滞納整理の早期着手と滞納処分徹底を進めるとともに、市町との連携強化を図ることにより、令和5年度決算における県税滞納額を対前年度1億円の縮減を目指す。
	○【見直し・効率化】収入証紙特別会計の廃止 目標： 収入証紙特別会計の廃止に向けて取組を進める。

所属名	市町振興課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○デジタル技術を活用した関係人口の創出を通じた移住・交流の促進 目標： 移住施策に取り組む市町への県外からの移住件数の拡大
	○【見直し・効率化】政治団体の政治資金収支報告書・各種届出のオンライン提出の促進 目標： 政治資金収支報告書・各種届出のインターネット上での提出を促進するため、政治団体に対して、オンラインシステムの利用申請を行うよう周知徹底を図る。
	○市町のニーズに応じた的確・迅速な助言・支援 目標： 年間を通じ、行財政等の課題について情報共有・情報交換に取り組む、市町の思いに寄り添って助言・支援を行う。

所属名	びわこボートレース局
R5年度に特に注力する事項（目標）	○：一般会計への繰出金の確保 目標： 15億円以上
	○【見直し・効率化】場内外警備業務の統一 目標： ボートレース場内と場外警備業務の委託業務の統一により、指揮命令系統の統一等による秩序維持の向上とともに、付随する事務の効率化を図る。